

移住者日記

✍ No.5

富士コンピュータ株式会社 取締役
AI 技術研究所 所長 比嘉 寛幸 様



私が取締役を務める富士コンピュータ株式会社はソフトウェアや AI ロボット開発等を行う企業であり、本社は兵庫県加古川市にあります。福島県の復興の力になりたいという思いから、福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金に応募し、2019 年、南相馬市に事業所を開設しました。

福島県への進出が決まると、多くの社員から「福島県には行きたくない」「福島県に転勤するのであれば会社を辞める」との声が上がりました。放射線に対する不安が大きかったようです。東日本大震災と福島第一原子力発電所事故はとてもショックな出来事でしたが、兵庫県では福島県の状況や放射線に関する知識を知る機会は少なく、町全体が避難しなければならない事態を見て、放射線は危ないものと思うことは仕方がありません。知識があっても不安に思う気持ちは人それぞれです。社内での検討の結果、幹部社員が異動することとなり、私を含む 6 名の異動と移住が決まりました。私は除染した場所であれば大丈夫という考えから、福島県への抵抗はありませんでしたが、南相馬市に移り住み、除去土壌が入ったフレコンバックが山積みになっている光景には驚き、放射性物質の存在を実感しました。

その後、事業所が手狭になったことで移転が計画され、企業立地現地見学ツアーに参加して浜通り地域にある工業団地を巡りました。魅力的な市町村ばかりでしたが、浪江町の熱心な PR や工場を設けるにあたっての条件の良さから、2020 年、浪江町に AI 技術研究所 浪江工場、物流センターを開設し、私も浪江町に転居しました。

浪江町には遅い時間まで営業する店はなく、チェーン店のコーヒーショップもファストフード店もありません。不便に思うこともありますが、静かな環境は居心地が良く、気に入っています。喫茶店で町の方とお話することもあり、先日は自宅で作った干し柿をいただきました。事業所の裏山からサルが現れた時は役場から提供された爆竹で追い払いました。兵庫県に住んでいてはできなかった経験です。

現在は地元の方を採用し、一緒に働いています。介護用ぬいぐるみ等を制作する傍ら、浪江町からの提案により、3D プリンタで『うけどん』のフィギュアを作成し、小学生に塗り絵を楽しんでもらえるような企画も計画しています。福島県に移住して 5 年、南相馬市でも浪江町でもたくさんの地元の方に親切にしてもらい、仕事も生活も順調な毎日です。正直なところ、始めは、誰も行けないならしょうがないという気持ちでの移住でしたが、今ではずっと浪江町で住み続けたいと思うようになりました。今後も福島県、浪江町の発展に貢献できればと思います。